

令和2年度 霧島市健康・生きがいきづくり推進協議会 会議要旨

開催日時	令和2年12月17日(木) 15:30~17:00		
開催場所	国分公民館 3階 大研修室		
出席委員	吉満委員、君野委員、岸本委員、花堂委員、中山委員、鶴田委員、藤山委員、斉藤委員、新町委員、久保委員、槐島委員		
事務局	中重市長、西田保健福祉部長、林保健福祉部特任次長 【健康増進課】小松課長、中村保健予防グループ長、吉村健康づくり推進グループ長、溝口主査、東郷主査、安田主事 【すこやか保健センター】島木所長、重留副所長、上小園地域保健第2グループ長、坂口サブリーダー 【保険年金課】末原課長		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
議事 (1) 健康きりしま21(第3次)計画の進捗状況と主な取組について (2) 霧島市自殺対策計画(案)について(別冊) (3) その他			
協議結果等の概要 委：委員 事：事務局			
(1) 健康きりしま21(第3次)計画の進捗状況と主な取組について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの質問、意見は以下のとおり。			
委 ：栄養・食生活改善と食育推進の部分で、朝ごはんが大切だと思う。早寝早起き朝ごはんを推奨していくためには、学校との連携が必要だと思うが、現在学校との連携をどうとっているか。			
事 ：平成30年度に学校栄養教諭に対して学校での食に関する指導での課題や取組、連携についてのアンケートを行った。その結果、授業の教材として使用できそうな資料や市の把握する統計や実態について知りたいとの意見があったため、令和元年度は、学校栄養教諭の研修会において市の取組や健康増進課で作成したリーフレットの紹介を行った。令和2年度については、郷土料理のレシピについて市内小学校35校の5~6年生を対象に配布を行った。			
委 ：フッ化物洗口を小学校で開始してから、85.7%の実施率ということで歯科医師会、医師会、薬剤師会、学校、教育委員会、健康増進課が連携して取り組んでいる成果だと思う。フッ化物洗口事業開始から6年が経過しようとしており、最初に始めた小学校は、すべての児童がフッ化物洗口を実施していることになるので、評価については、中学1年生のむし歯率を可能であれば出身校で把握できるとよいと思う。			
事 ：フッ化物洗口事業については、現在小学校35校のうち32校が実施しており、3校については実施できていない状況。フッ化物洗口は、長期的にみないと効果がよくわからないという現状があるので、小1からずっとフッ化物洗口を実施してきた児童が中学			

校でむし歯がどうなっているかをみることで効果を実感できると考えられるので、主管課である学校教育課と連携して評価を進めていきたい。

また歯科保健の現状として、1歳6か月児健診、3歳児健診での結果をみると、むし歯のない子どもは徐々に増加している状況であるが、幼児期の1人平均むし歯数は若干増えているため幼児期の2極化が進んでいる状況がある。むし歯がない中学生の割合をみると、令和元年度は、霧島市65.3%、県が60.6%という状況であった。

委：母子保健について、霧島市では細やかな支援、相談対応ができていると評価している。発達障害や発達の遅れのおそれがある子ども達の早期発見についてどうなっているか。

事：霧島市では、3歳児健診において問診で確認している。運動面や言葉の状況、行動面、遊びの状況などを確認している。昨年度は、情緒や行動面で気になる者で経過観察が必要な者が18.6%であった。そのうち療育等の支援につながった者が28.6%で、その他保健師の継続的な支援を行っている者が30.3%、その他経過観察等を行っている者が14.6%という状況であった。

委：16ページの心の健康相談の実績について、延べ人数での記載であるが、それぞれの人数を教えてください。

事：令和元年度は、実人数44人。令和2年度は、11月末現在実人数25人である。

(2) 霧島市自殺対策計画（案）について

⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの質問、意見は以下のとおり。

委：社会福祉協議会で行っている支援について紹介。社会福祉協議会では、令和2年4月に市に設立されたこども・くらし相談センター(通称「にじいろ」)と連携して生活困窮者自立支援事業を行っている。コロナの影響で経済困窮に陥った人が自殺の方向に傾かないように、国の制度である特例貸付の相談を受けたり、申請をしている。遠慮なく相談をしてほしい。

委：「にじいろ」についての啓蒙活動については、SNSでもやっているのでしょうか。

事：広報誌や議会の市議会だより、市ホームページでお知らせしている。

委：「にじいろ」の広報については、民生委員や福祉団体の会合で、「にじいろ」の職員に来てもらい、チラシ配布を行っている。「にじいろ」の生活困窮者に対応する相談については、市ホームページ、社会福祉協議会のホームページにも掲載している。

委：SNSを利用してダイレクトに相談先につながるようにしてほしい。

委：企業の観点から、従業員の自殺というのは企業としてきちっと対策を講じて取り組む内容だと思う。計画には施策がいろいろあって何に重点を置くのかよくわからなかつ

た。相談窓口は、受け身ではダメだと思う。自ら足を動かしてアプローチする。高齢者宅を訪問して、観察してそこから自殺の可能性について考え、寂しい思いや孤独な思いをしているのではないかと思うことから働きかけが始まるのかなと思う。

事：地域には民生委員がいて、その活動から、「にじいろ」やいろいろな場所につないでもらっている。民生委員が抱え込まないようにつなぎ役で活動してもらっている。

委：相談を受けたりつないだりするには、テクニックがいる。私たちの所もいろいろな講習会を受講させて、そういう取り方がわかる人を育成している。そういった方がゲートキーパーということですね。ただ何の変化がない方も自殺してしまうということもあるが色々な方にコミュニケーションを取ってそこで何か変化点をつかむことが必要なのかなと思っている。

事：貴重な意見ありがとうございます。市では自殺に追い込まれた方の原因を探すことは非常に難しいので、民生委員さんと色々なところでコミュニケーションを取りながらひょっとしたらということ拾いあげて、一人でも自殺の方向に向かわないような取組ができるよう、能動的なアプローチを検討しながら対策を講じていければと思っている。

委：民生委員としては、一人暮らしの方を見守りしている。同居人がいる方にも声かけをするが、自殺をされるような証拠があるかは見抜けない。一人暮らしの方へは、声かけてしゃべってくれば10～20分話をしている。7年間民生委員をやっているが見守りの中ではない。一人暮らしの中で亡くなる方は、孤独死みたいな状況が多い。自殺は、同居の方が気づいてくれるということが大事だと思う。兆候があれば早めに相談すること、つなぐことが大事。我々も福祉課につないだり、包括につないだりしている。

事：日頃からいろいろな活動をしていただきありがとうございます。同居人がいる方の自殺が多いというところで、家族の問題というのは発見が難しく、家族の中で孤独になっていると分析されている。独居だけでなく、夫婦であっても他の方とのつながりができれば、孤独にならずに自殺が防げるかもしれないので家族がいても声かけをしていただければありがたい。

委：各事業でゲートキーパーの研修を受講させるとうたっている事業が多いが、養成が可能なのか。ゲートキーパーの養成は大事なことですすめてほしい。

事：自殺対策計画を立てるにあたり、各課から研修を受けさせたいと希望が多くあった。またゲートキーパーの重要性についてわかってきたため、研修の回数を増やした計画を立てている状況である。

委：質問が2点と提案が3点あります。

質問1、計画6ページの自殺死亡率の推移で令和元年度が非常にあがっている。女性が多いようだが女性の年代、原因、傾向はどうなっているか。

質問2、計画7ページの年代別のグラフについて、年代別の変化の傾向について。

提案1、自殺で一人亡くなると5人から10人の方に影響があると言われている。自死遺族の支援について、どう取り組んでいくのか。

提案2、未遂者の方も多と思うが、県の未遂者支援対策と連携を取った未遂者対策が必要だと思うがどう考えているのか。

提案3、有職者が4割と非常に多いので商工会、商工会議所と連携を取ってメンタルヘルス対策の推進の取組をしていただけたらと思う。

事：自殺者の状況について、女性の自殺者は、平成30年が7人に対して令和元年は14人に上昇。高齢者が多い状況。原因については、4つぐらいあると言われているが、健康問題が非常に増えていて、次いで経済・生活問題が増えている。年代別の変化としては、例年高齢者が多いが、その年によってばらつきがある。今年度については働く世代が非常に多くて高齢者は減少している。

自死遺族の支援については、市には亡くなった方の情報がなく、相談が受けられない状況である。市のホームページでは、自死遺族の相談や自死遺族の会などの情報について厚生労働省のホームページや鹿児島県の精神保健センターの紹介をしている。

未遂者についても市には情報がない。この計画書を作成し、課と課の横の連携ができていけば、悩んでいる情報や未遂についても情報が得られ支援の可能性が出てくるかもしれないと思っている。

有職者に対する取組としては、相談窓口等の情報をカードやチラシに印刷し、それを商工会議所等に置いて、配るということを考えているのでその際にご協力をお願いしたい。

(3) その他

委員、事務局からもその他の意見なし。

会議資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none">○令和2年度健康・生きがいつくり推進協議会 会次第○霧島市自殺対策計画（案）○知って得する健康情報！○郷土の食材を使ったレシピ
------	---